

■震災遺構（旧門脇小学校校舎）検討会議（第1回）

○「震災遺構検討会議」の役割・スケジュール等

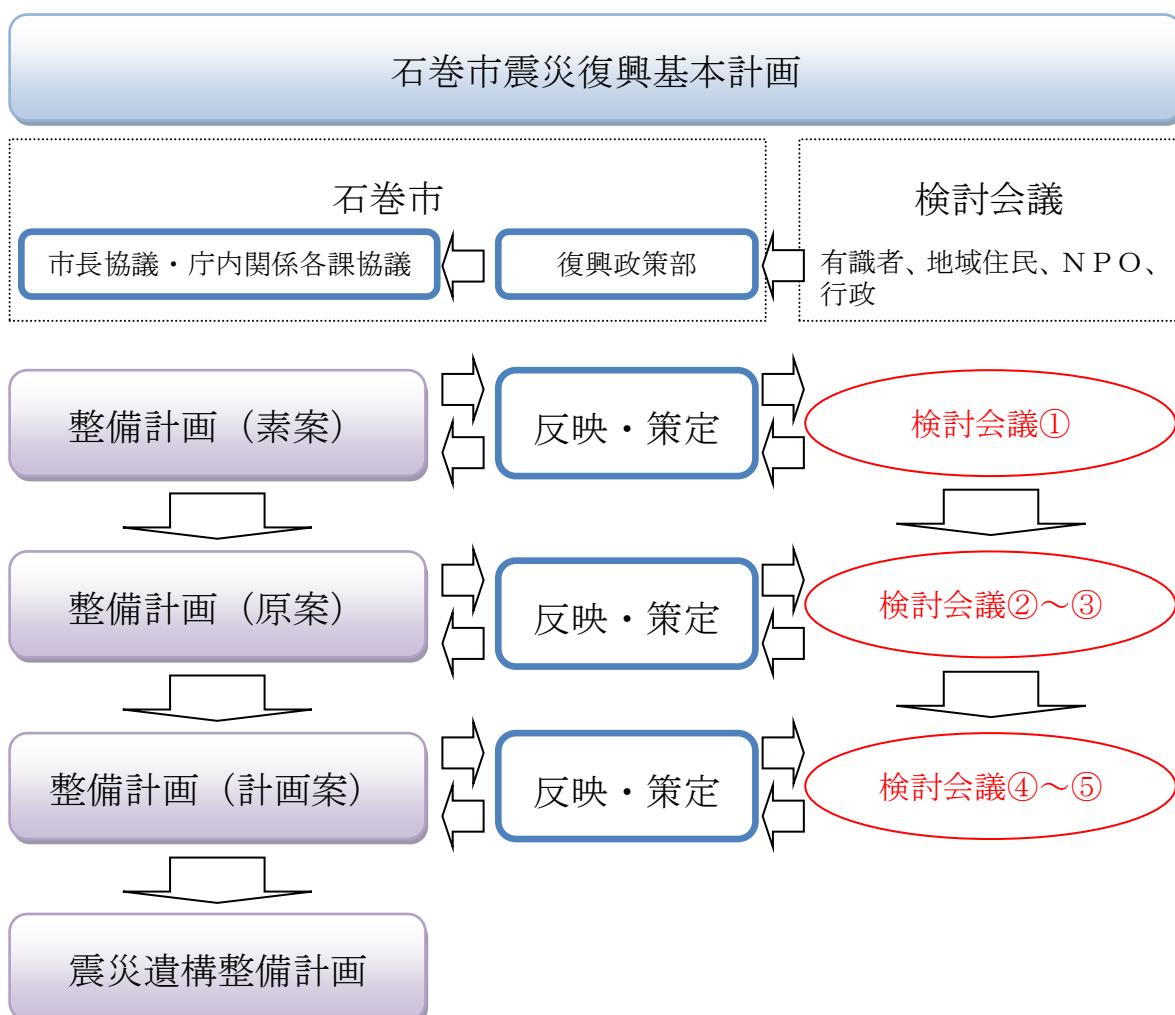
1 検討会議の役割

(1) はじめに

- ・『石巻市』は、震災による深い傷跡、悲しみの記憶及び震災を通じて得た教訓を風化させることなく後世に伝えるため、震災伝承に向けた市の基本方針（「石巻市震災復興基本計画」等）を基に検討を重ね、「旧門脇小学校校舎は震災伝承するための重要な施設である」との位置付けのもと、「校舎は、一部又は部分保存することとし、震災遺構として整備を行う」という方針を固め、それに基づいて「震災遺構整備計画」を策定します。
- ・その策定にあたっては、幅広いご意見を反映させるため、有識者、地域住民、N P O、行政によって構成される『震災遺構（旧門脇小学校校舎）検討会議』（以下、検討会議）を設置し、整備、利活用、運営・維持管理等に関する意向や意見を集約・提案していただきます。

(2) 「震災遺構検討会議」における協議について

- ・検討会議は、司会進行役(ファシリテーター)を中心に、有識者、地域住民、N P O、行政の方々が参加し、整備、利活用、運営・維持管理等に関する課題解決に向けて、共同作業によるワークショップ（W S）形式で、意向や意見の集約を図っていきます。



2 検討会議における主なテーマ及びスケジュール(予定)

